



マイガクのすゝめ

校長 鬼 武 伸 哉

中高生の頃、私が最も苦労したのは、学習したことを記憶することでした。興味のあることはともかく、関心の薄い教科や分野について記憶にとどめることは極めて難しく、要点を覚えきれないまま、小テストや定期テストに臨む苦しい場面を夢に見ることが30代後半までよくありました。いかに教科の学習が自らの心を苦しめていたかを実感したものです。特に高校生になると授業の進度が目まぐるしく速くなり、恐ろしく早口の教員が話すスピードにより、記憶することが積みあがっていくように感じていました。当然、その内容を授業中に記憶にとどめることは困難で、家庭学習をいかに効率的に進めていくかが私にとって大きな課題でした。当時の私の対処法は、ひたすら鉛筆やボールペンで要点に下線を引いたり、枠囲みをしたりしながら音読することで、当時の教科書や参考書を読み返そうとしても、文字を認識できるページはほとんどありません。今は亡き恩師は繰り返し次のように語っていました。「本は買わないとだめだ。借りた本を汚すことを恐れて眺めているレベルでは、その価値を味わうことはできない。」もちろん、彼が伝えたかったことは書籍の記述を暗記する大切さではありません。ただ、当時の私にとっては、「学ぶこと」＝「覚えること」でした。活用することのない膨大な知識や情報など、スマホ1台あれば一瞬にして必要な情報にたどり着ける現在では愚の骨頂と言えるかもしれません。とは言え、基礎的な知識を覚え、理解することをスマホやAIに任せ、知識や情報を記憶する行為を放棄する社会になれば、まさに人類がAIに淘汰される事態に繋がる危険性を否定できません。なぜなら、そうした努力を全く必要としないまま大人になれば、知識や情報を基に自分の頭でものを考え、処理するプロセスにおいて、スマホがなければ何もできなくなる可能性が生じるからです。

先月27日（火）に実施した「令和7年度第1回学校運営協議会」で、委員の皆様にお集まりいただき、本年度の学校経営案や重点目標と目標達成に向けた具体的な方策等についてご承認いただくと同時に、本校が抱えるいくつかの課題の解決に向けて様々なご意見をいただきました。課題の一つが「家庭学習の充実」です。この課題を改善していくために、具体的な方策としてPTA総会で保護者の皆様に提示させていただいたものが以下の5点です。

- 宿題やマイガクノート等の確認と声かけ
- 保護者の働きかけを意図したアンケートの実施
- 「マイガクの手引き」の配付を基にした家庭との連携
- タブレットの活用
- 一人ひとりの生徒に合った課題の設定

「マイガクの手引き」はすでに生徒に配付済みです。つい先日、スクリーンで保護者や学校運営協議会委員の皆様にも配信しております。また、本日実施するミニ生徒総会や来週12日（木）に実施予定の生徒総会でも「家庭学習の取組」と題して全校生徒でその改善や充実に向けた対策を話し合うことにしています。

学校運営協議会では、上記に6点目を加えて説明させていただきました。その6点目の方策は、○生成AIの効果的な活用です。山口県教委は、すべての児童生徒に求められる資質・能力の育成を図るため、生成AI・学習アシスタントアプリを活用することで、家庭における「学び」と学校における「学び」の好循環の創出をめざしています。今年度、県内公立中学校へアプリを一斉導入することで、すべての生徒に学習機会を保障し、個に応じた家庭学習の支援を充実させることにしています。こうした施策は、本校の課題解決や改善に大いに役立つものと期待しています。

話を運営協機会に戻しますと、話し合いの中である教員がかつて勤務したある市の中学校での実践について語りました。現在もそうであるかは定かではありませんが、その市では本校で言う「マイガクノート」が英語科の家庭学習ノート（通称「毎日ノート」）に限定されており、小さな字でノート1ページを真っ黒に埋め尽くすことが求められていたそうです。教員にとってもそのノートの確認はかなりの負担感がある業務だったようですが、その成果が英語科のテストの結果に表れていると推測する人たちも多かったそうです。この詳細はともかく、本校生徒が個に応じた家庭学習を充実させるために、「マイガクのすゝめ方」を総会で熟議し、学力向上に繋げることを心より願っています。「努力はうそをつく。でも、無駄にはならない」（羽生結弦）

1年 グリーンスクール、2年 スカイスクール、3年 修学旅行

それぞれのチャレンジに見合う大きな成果を残して終わりました！

5月に各学年の校外学習が実施されました。1年生は、由宇青少年自然の家ふれあいパークの施設に向けた登山に始まり、AFPYや野外炊飯、陶芸等を、2年生は、周防大島町で18グループに分かれて家業体験を行いながら民泊体験を、そして3年生は、大阪、京都、奈良で歴史的・文化的遺産や近代産業について見学し、多くのことに挑みながらの研修を通して、子どもたちは個人及び集団としての学びを深めました。1年生は体験したことを絵日記にして掲示することで、2年生はグループで学んだことを発表することで、3年生は学んだことを絵に描き、タブレットに記録したうえで他グループに紹介することで学習を振り返りました。2、3年生は先日の土曜参観日に振り返りを実施していますので、活動の様子をご覧になった保護者もいらっしゃるかと思います。こうしたチャレンジの成果を今後の学校生活の充実に繋げていくことを期待しています。



6月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
3	火	生徒集会	13	金	テスト前部活中止（～22日） 漢字検定（放）教育実習終了【1名（体）】
4	水	研修職員会議	14	土	選手権予選（野球、バレー、バスケ、テニス）
5	木	おむすび弁当の日	15	日	選手権予選（野球、バスケ）
6	金	学力診断テスト（3年） 教育実習終了【2名（理、家）】	16	月	教育相談（～20日） 生徒評議会 SC来校（午後）
7	土	選手権予選（野球、バレー、テニス、卓球）	17	火	技能テスト（～20日）
8	日	選手権予選（野球、テニス）	20	金	5教科テスト（23日テスト終了）
9	月	SC来校（午後）	25	水	認知症サポーター講座（3年）
10	火	ICT合同研修（本校会場）	26	木	薬物乱用防止教室（3年） 短歌教室（1，2年）
11	水	職員会議 テスト計画作成	27	金	専門委員会
12	木	生徒総会	30	月	心磨き振り返り SC来校（午後）